

# オーケストラ！（Le Concert）

観賞日 2021年8月23日

## 【概要】

制作 2009年 フランス 上映時間 119分  
監督 ラデュ・ミハイレアニウ  
音楽 アルマン・アマール  
撮影 ローラン・ダイヤン  
出演 アレクセイ・グシュコフ（アンドレイ・フィリポフ）  
メラニー・ロラン（アンヌ＝マリー・ジャケ）、ドミトリー・ナザロフ（サーシャ・グロスマン）  
ミュウ・ミュウ（ギレーヌ）、フランソワ・ベルレアン（オリヴィエ・デュプレシス）



## 【あらすじ】

ポリショイ管弦楽団の天才指揮者であったアンドレイ・フィリポフは今や清掃員をして生計を立てている。アンドレイはブレジネフ政権に逆らい、人民の敵として楽団を追われた過去がある。ある日、清掃作業中見かけたファックス。楽団の支配人宛にパリのシャトレ座から届いた公演の依頼状。そこで、アンドレイはとんでもないことを思いつく。かつての仲間を集め、ポリショイ管弦楽団になりすましパリで公演を行うという計画だ。親友のサーシャの力を借りて30年間、音楽から遠ざかっていた仲間を大至急集める。演目はチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲。主役のソリストは新進気鋭で29歳のスター、アンヌ＝マリー・ジャケに決まる。難問をクリアして花の都に乗り込む楽団員。公演の前夜、アンドレイはアンヌ＝マリーと会食する。アンヌ＝マリーはそこで自らの過去を語る。次第に明らかにされる亡くなったアンヌ＝マリーの両親とアンドレイとの関係。一旦は共演を断ったアンヌ＝マリーであったがアンドレイと同じ舞台に立つことを決意し、いよいよ舞台の幕が上がる。楽団員は30年間のブランクを超えて再び輝きを取り戻せるのか。自らの出生の秘密を知ったアンヌ＝マリーは。「笑って、泣かせて、聴かせる」映画の愉しみを存分に堪能させてくれる感動作。

## 【解説】

### ■ポイント

#### ●チャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲

- ・1878年に作曲
- ・ベートーベン、メンデルスゾーン、ブラームスのヴァイオリン協奏曲とともに、四大ヴァイオリン協奏曲といわれている。
- ・本作以外にも映画やテレビドラマにたびたび使われている名曲  
「北京ヴァイオリン」（映画・2002年）  
「のだめカンタービレ」（テレビドラマ・2008年）



#### ●受賞（第35回セザール賞）

6部門にノミネートされ、2部門で受賞（音楽賞・音響賞）

### ■見どころ

#### ●前半はコメディ、ラストは感動シーン

奇想天外の立ち上がりから、ラストは過去の秘密が明かされオケとソリストの気持ちが一気に通じあう感動のシーン。